



水害で被災した街で、空き家を生かし多世代多文化交流できる場をつくる

認定特定非営利活動法人茨城 NPO センター commons

茨城県常総市水海道 森下・橋本地区

空き家改修のきっかけとなった2015年9月10日の鬼怒川洪水



私たちが被災した「平成27年9月関東・東北豪雨」という災害は、鬼怒川の上流で連日大量の雨が降り、栃木県や茨城県で鬼怒川が氾濫した災害です。常総市では大規模な堤防決壊が起こり、市の3分の1の面積が浸水しました。浸水エリアはハザードマップに書かれていたのと同様でした。

水害後に起きた人口の流出と空き家の増大 外国籍住民の割合の増加



3日間水に浸かったことで建物に甚大な被害

2015年末 2017年末 2020年6月1日

●市の人口 64,462人 → 59,398人 → 62,887人
●外国籍住民 3,922人 (約6%) 4,675人 (7.8%) 5,515人 (8.8%)



ボランティアが泥だしや片付けをした家でも改修の費用が工面できない世帯は、家を壊し街を去って行きました。

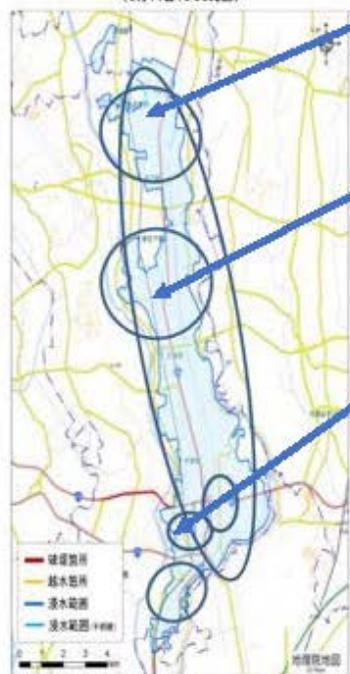


人が減ると、宴会場、ファミリーレストランも次々に廃業。森下町ではお茶のみでできる場がなくなりました。



アパートも改修資金が足りず、手つかずのまま残っている物件もあります。
日本人が出ていった戸建てに外国籍世帯が入居したり、空き地に日系ブラジル人が家を新築するケースが増えました。外国人住民の割合は1割を超えました。

平成27年9月関東・東北豪雨に係る茨城県常総地区推定浸水範囲 (9月11日10:00時点)



早朝、北部で堤防越水

13時 堤防決壊

森下地区

夕方 新八軒堀川の水が地下から溢れる

夜、南部市街地浸水

深夜 八軒堀川決壊

市の東部全体が浸水



コモンズが目指すシェアハウス（居場所）は多文化・福祉・長屋

被災者の生活再建と孤独防止を重視していた5年前のコンセプト

- 庭や間取りが選べる 住む人の意向に沿って家を改修
- 家賃を抑える 空き家活用とDIYで改修費を抑える
- 一人暮らしでも安心 送迎、ゴミ出しなどの生活サポート
- 寂しくない 「えんがわハウス」を自由に使える
- 楽しみがある 趣味、畑、運動、散歩等、
- 生きがいが見つかる 子の見守り、大工、畑や園芸など
- 災害への備えがある 災害時もスムーズに避難

今のコンセプトにはダイバーシティ（人的多様性）が追加

- 日中独居で見守りが必要だが要介護ではない人、**一般就労できない人**に、家から出て人と会える場を作ること**で孤独を防ぎたい。**
- **外国籍の高齢者、障がい者が安心していける場**を作り、福祉ニーズに合わせたサービスと**バイリンガルな共助の担い手**を生み出したい。
- **福祉サービスから漏れてしまうのを減らす。**
- 多文化保育園の園児と高齢者の共生ケア
- **年齢、国籍、障がいを越えた地域での支え合い**

相談で見えてきた、地域で暮らす外国籍住民の福祉的課題

- インド、パキスタンなどの転入者の**子育ての相談先が不足**
- 日系ブラジル、フィリピンの子の**不登校や引きこもりの増加**
- 外国籍生徒の高校を出た後の**仕事先**が工場などに限られている
- コロナ、住宅ローン等で**心身を病む人の増加**
- DV・虐待で家を追われる**母子の住む場**がない
- 日系人以外の**外国籍女性の仕事の訓練の場**が少ない
- **高齢の日系人がいける福祉の場**がない
- **外国籍で障がい、高齢福祉サービスが受けられない人**がいる
- 兄弟姉妹が多い外国籍の子が**ヤングケアラー**になりやすい
- 若い技能実習生と地域の**接点**がない
- 入管**収容施設を出された人**の家と医療が不足

サポートつきシェアハウス 入居者募集

ぽかぽかホーム



店舗つき住宅

1階に2室、2階に3室の居室があり、トイレは3つ、1階に風呂、2階にシャワー室があります。



運営 茨城NPOセンター・コモンズ

電話：0297-44-4281 E-mail: juntos@npocommons.org

〒303-0003 茨城県常総市橋本町3571

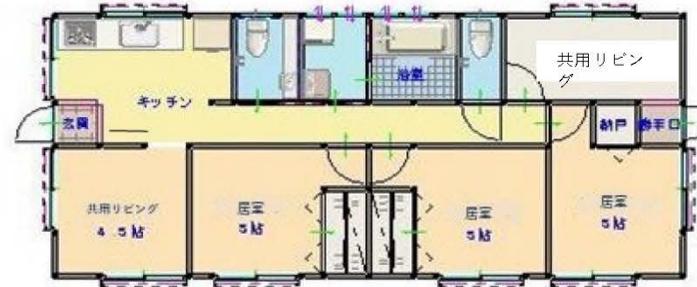


えんがわハイツ



女性専用

冷蔵庫、調理器具、洗濯機など備わっています。共用リビングとトイレは2か所。個室は3室。



各居室にはクローゼットが つきます



ハウスは、人生の曲がり角にある人が新たな生き方と出会うための居場所を目指します

ジュントスハウス



家族向け 1, 2階に2室ずつあります。トイレ、風呂、台所、洋間は共用

家賃はいずれの物件も**1室1ヶ月3万円**。(ジュントスハウスは二間で同額) そのほか電気、水道、WIFI費用として**月に1万円の共益費**がかかります。駐車場が必要な人は別途契約が必要になります。

敷金・礼金なし

保証人の必要はありませんが、共同生活のルールを守ることが要件です。シェアハウス入居者には、希望により、運営するNPO等によるサポートが付きま す。(一部有料)

保育・子育て支援

0~6歳まではじめのいっぽ保育園で保育を行っています。

就学・進学支援

小中学校就学、高校進学に関するサポートを行っています。

就労支援

清掃、調理、接客、農作業、保育、学習支援、送迎などの仕事があります。一般就労ができない方向けには就労訓練や職場体験、日本語学習やキャリア研修も行います。

相談支援

生活保護や経済的支援の申請、障がいや高齢福祉サービスの申請や通院買い物、在留資格変更等の相談支援を行います。

ぽかぽかホームの改修と運営は、赤い羽根福祉基金の助成と日本都市計画家協会の「新型コロナウイルス対応緊急支援助成」を得て行っています。